

なぜなケアプランセンター



仕事が終わる事務所を出る時、同僚が私に「今迄配慮してあげられなくてごめんね」と声をかけてくれた。帰宅して涙が止まらなかった。仕事が山積みになって、自分の能力が追い付いていない事が悔しかった。パソコンのシステムにもなれなくて、そのために他のケアマネに何度も何度も同じことを聞いても、嫌な顔一つせず教えてくれて、支えてくれたことを思い返し、熱いものが込み上げてきて、それがあふれ出してしまって止まらなかったのだ。皆に支えられ、今日も仕事をしている。ありがとうございますと感謝しながら。

共生の里ヘルプステーション



永い間一緒に暮らした愛犬を亡くした利用者は状態がとても悪くなり、ヘルパー利用のキャンセルが続きました。久しぶりに訪問しても体調が悪そうで「新しい子犬を迎えたいけど、自分の体のことを考えると不安、子犬に寂しい思いをさせるかも」と、とても悩んでいました。そして最近かわいい子犬を迎えたのですが、以前の表情とは全く違い、とても元気になりました。ヘルパーも子犬を見るだけで癒されています。動物がもつ癒しの力はすごいです。これをきっかけにセラピードッグのことを勉強してみようと思いました。

誕生日に寄せて

滋賀県生まれ、商社マンのご主人と結婚して、高槻に住んで26年が経ちました。戦時中は非常に苦勞したと言います。以前に通っていた施設は、丁度、新型コロナが大流行していた時期もあり、気軽に話ができる人がいなかったようです。共生の里のデイに来るようになってからは大勢の人と話が出来るようになって嬉しい。週二日の利用ですが、充実した生活を送る事が出来ているとの事です。今後ともどうぞお元気でお過ごし下さいね。

